

ゆとり世代の叱り方・教え方Q&A(第1回)

「軽く注意したら落ち込んだ」どうすればいい？

2016.04.14

連載「“ゆとり君”と働くために覚悟しておくこと」では、ゆとり世代の特徴を説明して、どんな心構えで接すればいいのか解説しました。今回から、実際に上司として接していれば遭遇する具体的なケースを上げて、対処法を伝授します。

Q

軽く注意をただけなのに、ものすごく落ち込んでいる様子です。その後、仕事の話をしようにも近寄ってこないし、周囲には「会社を休みたい」とまで話しているようです。

A 上司が想定しているより2倍以上のショックを受けています。そう考えて、言葉遣いや叱り方を選んでください。

【対処法のポイント】

ゆとり世代は怒鳴られることや、怒られる時の大きな声に慣れていません。まず、どちらかというどびつくりしてしまいます。びつくりして「ものすごくヤバイことをしたんだ」という思いになっています。

極端な話、「くん」付けで呼ばれないことだけでびつくりします。呼び捨てにされただけでドキッとするわけです。学生時代に、同級生に呼び捨てにされることはあったとしても、それほど親しくない第三者に呼び捨てにされた経験がありません。学校の先生も、基本的には「〇〇くん」「〇〇さん」と呼んでいます。



呼び捨てにびつくりするくらい免疫力がないゆとり世代に対して、上司には「自分が学生時代に経験してきたことは、当然、彼らも経験しているだろう」という思いがあります。また「自分も若い頃、先輩や上司にこんな感じで言われた」という経験があり、だから、「俺もお前らに言う(のは当たり前)」と、悪気なく叱っています。これが、ゆとり世代には非常に大きいショックを与えるのです。

ものすごく怒っている人が話しかけてくる？… 続きを読む